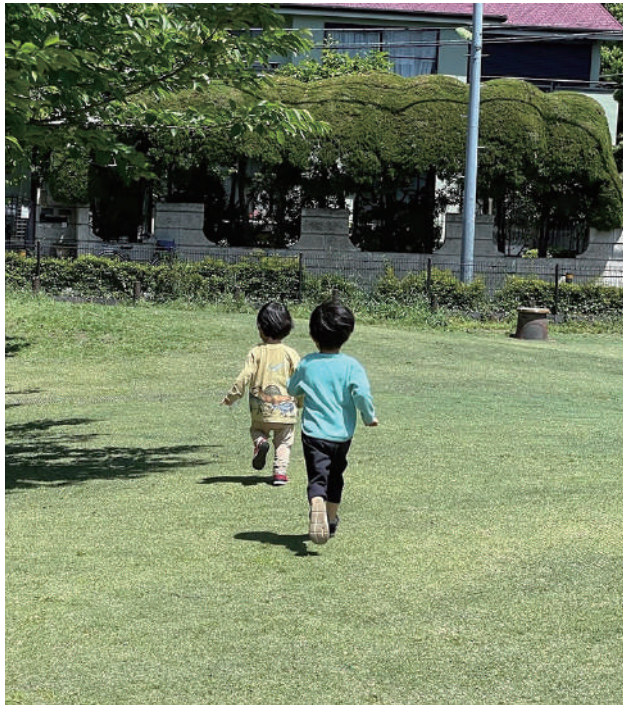


上町しぜんの国

園だより | 5月号 2023.5.11

ちょうちょとおいかけっこ

(2023.5.2 小倉記)



2匹のちょうちょが飛んでいった。

小倉「ちょうちょ、はやいね〜。」

A「Aくんもはやいよ〜」

Aくんはそう言って走り出した。

ちょうちょとの追いかけっこが始まった。

ちょうちょが先を行っていたが、Aくんが抜いた。

小倉「Aくんの勝ち〜」

それを見たRくんも参加。

Aくんといっしょになってちょうちょと

おいかけっこをしていた。

5月の予定

子どもの声 が 聞こえてきたら

石上 雄一朗

子どもが子どもに 、子どもが大人に

上町での暮らしが1ヶ月経ちました。子どもたちも、大人たちも、緊張がほぐれてきて段々と豊かな表情が見られています。気候も暖かくなってきました。このポカポカとした陽気にも後押しされているように感じます。

今回は上町1年目の保育者のエピソードです。まずは、Rちゃんちの田川さん(カーリー)です。

今日、Rちゃんがすごい笑顔を見せた。

それは朝おやつの時、後ろの棚にIくんが寄りかかりながら図鑑を読んでいる。Rちゃんがおやつを食べながら、Iくんの方をじっと見ているのに気付いてか、Iくんは急に「あっぱいぶべば〜!」と、よくわからない言葉。変な顔の絵文字にそっくりな顔をしながら、手を顔の周りで広げて見せた。

すると「あぎゃぎゃ」とRちゃんが声を出して笑う。Rちゃんもちょっとずつ表情が和らいで、笑顔も増えていた最近だったけれど、今日のあの瞬間が過去一だった。

この間の0歳会議で、音の話題が上がった。Iくんが発したよくわからないけどおもしろい音、声。Rちゃんにはどう聞こえて、何が響いたんだろう。わたしの声はどんな風に聞こえてるだろう。

そしてIくんみたいな、あの素直さといったらいいか、自然な関わり。自然って難しい。考えちゃえば考えちゃうほど難しいけど、子どもたちの赤ちゃんに対する自然な関わり?わたしもそれができたらなあと思う。(2023.4.27 田川記「あっぱいぶべば〜!」)

子どもの自然な関わりの中にある凄さ。大人が真似てみても何か違って同じようにはありません。この1ヶ月の間にはこのような子ども同士の柔らかく繊細でいて豪快な振る舞いが関係性をほぐしていく場面もたくさん見られました。大人も真剣に考えつつ、子どもにも学んでいます。

次はSちゃんちの佐久間さん(くまちゃん)のエピソードです。

15時。むくっと起きたS君を抱っこ。先に起きていたSちゃんたちがソファで絵本を見ていたため、そちらへ行ってみる。私も一緒に抱っこで座ろうとしたけど、なんとなくS君だけをSちゃんの隣へ。すこし硬い表情をしているSくん。あまり気にせず図鑑を見ているSちゃん。しばらくしてふと見ると、S君がだらんとSちゃんに身を預け、手を重ねている。手が重なってるのはたまたまかな?

と試してみたいけれど、Sちゃんが手を動かしてもまた手を重ねていたので、S君の意思なんだと思った。

つめの間に土がぎゅぎゅ詰まったSちゃんの大きな手。まだむちむちとしたS君の小さな手。

大人に対しても自分からあまり身を委ねたり甘えたりする姿が少ないと思っていたS君。この時どうしてSちゃんに身を委ねたのだろうか。なんとなく、安心したのかな。

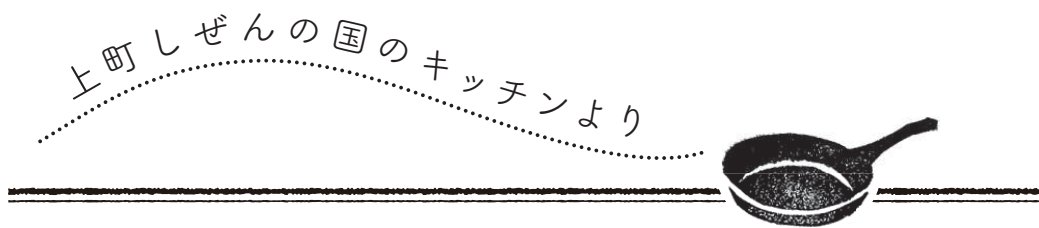
(2023.4.21 佐久間記「S君 手を重ねる」)

わたしたちは保育での出来事を解釈するときに「触る」と「触れる」の違いを話題にします。

伊藤亜紗さんは著書「手の倫理」の中でこのように書かれています。「「ふれる」が相互的であるのに対し、「さわる」は一方的である。」「「ふれる」は人間的なかわり、「さわる」は物的なかわり」(「手の倫理」著:伊藤亜紗)

子どもたちの姿を慎重に紐解いてみると、その間には常にこの「ふれる」の相互関係が溢れているように見受けられます。Sくんにとっても、Sちゃんにとっても、人間的で温かな関係性を感じます。

一般的には、大きい人が小さい人に対して

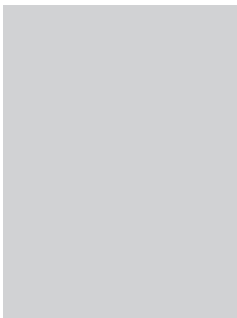
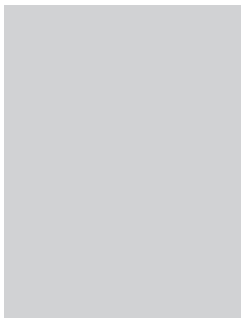


たけのこ

春のお楽しみ、たけのこごはん。

今年は大きい子何人かと、たけのこをオオゼキに買いに行きました。

皮むきは、ホールに集まってきた小さい子、みんなかったちと一緒に。



「どこまでむけばいいの〜？」と、たくさん重なっているたけのこの皮を、次々とむいていました。むき終えて、「あ〜かわむぎたのしかった！」という声も聞こえてきました。買い出し、下ごしらえと、こどもたちと一緒に

作ったたけのこごはんは、おとなにもこどもにも大人気でした！

後日、お散歩先でちいさいたけのこが生えている

のを見つけた、Sちゃんち、Hちゃんちのこどもたち。いくつか持って帰ってきて皮をむき、「たけのこ、ゆでて〜」とキッチンに。塩ゆでにして、おやつにいただきました。



自分の手で採ったり、作ったりするのも、旬のたべものの醍醐味だよなぁと感じました。

これから、園庭では梅の実、畑では夏野菜の収穫の時期になります。

その時々旬の味を、いろいろなかたちで楽しめたらな、と思います。

ーキッチン久保田



保健だより

徐々に暑くなってきました。

園では、外に出る際に帽子を被らせたり、お茶をちょくちょく飲んだり、テラスにタープやテントを出したり、朝おやつの際に塩分のあるお煎餅やキッチンさんが用意してくれた浅漬けを食べたり、色々と「熱中症」対策をしています。

まだまだ子どもたちの体は暑さに慣れておらず、＊「暑熱順化」できていない状態です。

＊「暑熱順化」とは、体が暑さに慣れることです。

例えば、「暑熱順化」できていない体は ①皮膚の血流量が増えにくく熱放散しにくい。②汗に含まれる塩分が多く、ナトリウムを失いやすい。③体温が上昇しやすい。など、体が熱中症になりやすい状態です。

こちらでも子どもたちの様子を見ながら活動していきますが、お家からも、朝ごはんにはスープを飲んでくるなど、水分や塩分の補給をしてからの登園をお願いします。

4月は発熱する子どもが多くいました。

5月8日にコドモン配信させていただいておりますが、職員、子ども含めて連休内でインフルエンザに罹った、もしくはその疑いのある人が8名程すでに出ております（5月8日現在）。ご家庭でもお子さんの体調に注意して下さい。

保育園はみんなで生活する場ですので、発熱した際には受診し、医師の診断後の登園をよろしくお願いいたしますね。

ー看護師 通山

◎感染症状況(4月分)：咽頭結膜熱(アデノウィルス感染症)1名

作ってみたい! 食べてみたい!
Recipe of
Kamimachi
カミマチレシピ

三色ナムル

【材料】4人分

- ☐ もやし：1袋 ☐ きゅうり：1/2本
☐ ハム：4枚
☒ 酢：大さじ1 ☒ しょうゆ：大さじ1
☒ ごま油：大さじ1 ☒ 塩、白こしょう：少々

【作り方】

- ① もやしはやわらかくゆで、冷めたら水分をしぼっておく。
- ② ハムは細切りにし、きゅうりは千切りにする。
- ③ ☒ 印を混ぜ、ドレッシングを作る。
- ④ 野菜、ハムをドレッシングであえる。

職員の声

普段、布団に入ると3秒で寝てしまうのですが、最近お年頃なのかなかなか寝つけない日も...
「安眠、入眠、のびる」という音楽を聴いてみてもダメ... そんな時、偶然、ラジオをつけたらあんなう間に寝落ちしてしまつた。以来、この手をつかっています。イチャモンないおはべりの声がいちばんリラックスです。新井原、かなあ。

一人暮らしの息子が帰ってくると、小エナコンロで炭火焼きます。今回はカツオのたたき。LINE以外の会話も母とこうして、カツオにはあつという間に火が入りパサパサに...。次回戻りがツオズリベンジ!! キリテン 火母原

GWは、のんびりと家の家の片付けをして過ごしました。見て見ぬふりをしていた糸モノ系の整理や、なんとして置きおめて溜まっていた場所の片付け...。気がなるとはいえけれど...という部分に手をつけられて、気分晴れやか! この晴れやかさを維持したいものです...。リタちゃん、いこう、あま

♪ (SSS) ♪
すみち。んちに居ます。タッキーと瀧野です。Rockと銭湯が趣味です。先日、20年振りに大女子母ミュージシャンのライブと地方銭湯とダブルで楽しんで来ました。今は東京銭湯と地方銭湯の違いをテーマで探究しています。おすすめのあったら教えてください。